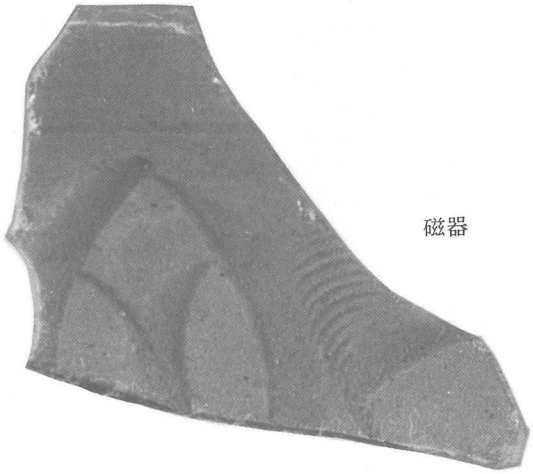
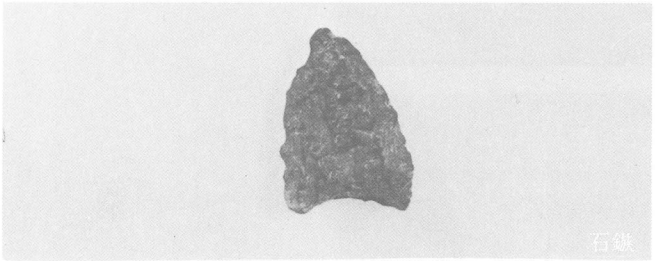
図版第52、遺物 その他

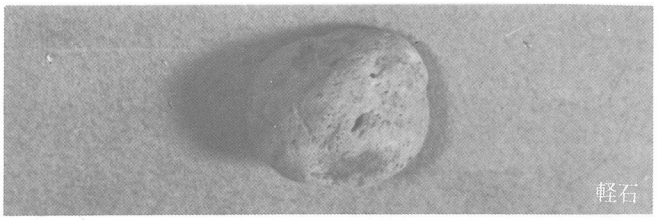


磁器

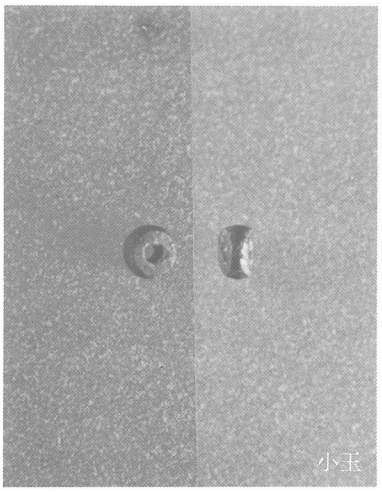
土錘



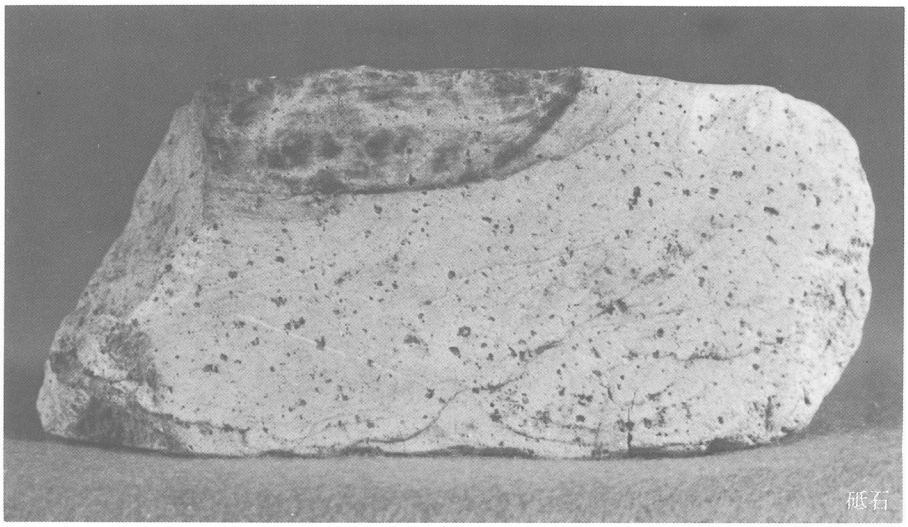
石鏃



軽石



小玉



砥石

あ　と　が　き

はるかに遠い時間の彼方から、地下に眠り続けてきた文化財。それは、共有の文化遺産として我々の現在の生活の成り立ちを解く鍵を握って幾千代の風雪に耐え、深々とした大地の懐に抱かれて再生を期し続けております。私は、この偉大な文化遺産に深い感銘と畏敬を覚え、遠い祖先の生活にひそかな追慕や郷愁を感じるものであります。

しかるに、近年の開発の波は、未来永却に安眠を願った古人の夢を破るまでに高まっております。岡山市教育委員会でも極めて多くの各種開発工事に伴う埋蔵文化財の確認調査依頼があり、一件について時には何回もの立会や保護指導を行い、一方では出土物の整理研究や資料作成に忙殺されるなど、数少ない人員で開発と文化財保護の望ましい調査を図るために、苦闘しているのが現状であります。

このたびの岡山市立庄内幼稚園建設に伴う発掘調査も、こうした文化財保護業務の深刻な事態の中で、発掘調査対策委員の諸先生のご指導と岡山市遺跡調査団の多大な尽力をいただいて実施されたものであります。そして、岡山市教育委員会文化課の担当職員の労と関係各位のご支援の基に、ようやく記録保存のための報告書の刊行にまでこぎつけました。ここに謹んで岡山市遺跡調査団長水内昌康先生をはじめとして、対策委員の諸先生方及び関係者各位に心から感謝と御礼を申しあげます。

この小冊子が我々の共有財産ともいうべき郷土の文化財に対する理解と認識を深める一助となり、その道程の小さな一里塚ともなれば望外の喜びであります。

最後にこのたびの発掘調査から報告書作成までに、その中心勢力として精力的なとりくみをされた文化課の関係者職員の労を多とします。

昭和56年3月31日

岡山市教育委員会
文化課長　熊代久治

三手（庄内幼稚園）遺跡発掘調査報告

1981年3月31日　発行

製作・編集　岡山市遺跡調査団
岡山市教育委員会文化課

発　行　岡山市教育委員会
岡山市大供1—1—1
岡山市遺跡調査団
岡山市大供1—1—1
岡山市教育委員会文化課気付

印　刷　伸輝印刷